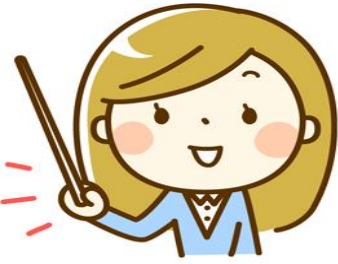


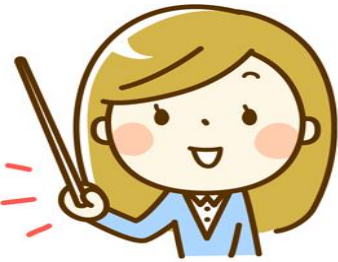
みんなが知りたい、PTAのQ&A



PTAってなあに？

PTAとはP（Parent：保護者）、T（Teacher：教職員）、A（Association：共同・連携）の略で、保護者と教職員が連携し、子どもたちの笑顔とよりよい教育環境を目指して活動する団体です。入会はもちろん会員の活動参加も任意です。また、PTAは会員限定のサービスを行う会ではなく、全児童を支援対象とした活動を行う団体ですので、保護者の加入状況や活動参加の有無によって、子どもたちを区別するような活動は許されておりません。

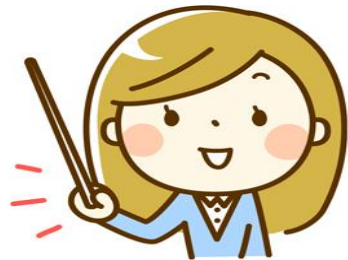
どんな活動をしているの？



町田第五小学校PTAでは子どもたちのための活動を、学校や地域の皆さんと連携しながら行っています。2023年度はエントリー制として、運営スタッフ・学級代表・各サポーター（運営、校外、広報、地域連携、ふれあいデー、図書ボランティア、プール見守りや星空映画館設営、フラッグアート設営などのピンポイントなど）の皆さんと協力しながら活動を進めてきました。

<2023年度の主な活動>

- ・学校や地域の皆さんとの意見交換
- ・学校のお手伝いや地域活動への参加（プールの見守りやお祭りのお手伝い）
- ・学校での出来事や先生紹介などの広報活動
- ・各学年活動の支援（移動動物園や様々な講座の実施支援）
- ・保護者交流会の開催
- ・地域と連携し、通学路の安心安全確認や登下校の見守り活動
- ・各学年・地区別オープンチャットの運用
- ・「こども110番の家」の登録受付
- ・「まちごかんしゃのお花畑」企画 ほか

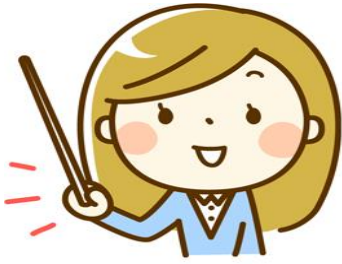


エントリー制ってなあに？

町田第五小学校PTAでは2020年度まで、役員や委員・係を円滑に選出するための「登録年度制」や「ポイント制」をとっていました。それぞれの活動にポイントがついており、在籍中に獲得したポイントは蓄積され、本部役員や委員長経験者は以後の活動が免除になるなどのルールがありました。定数を必ず選出するため、保護者会での係決めは重苦しい空気となることも多くありました。

2020年度コロナ禍でPTA活動が休止となったタイミングで、もっと活動しやすいPTAを目指して本部役員で検討を始めました。名古屋市の吹上小学校などPTA改革の先進事例を学び、保護者の皆さんに意識調査を行いながら、負担感、強制感のない活動を模索しました。そして、「やってもいいと思った人が」「やってもいいと思ったときに」「やってもいいと思ったことを」できる手挙げ式の「エントリー制」の導入に向けた準備を進めてきました。2021年度より段階的にお試し「エントリー制」を導入し、2023年度より正式導入となりました。

「エントリー制」は、全ての活動が希望者による参加となるため、ポイント・免除権の有無に関係なく、参加を希望しない方に活動を強制的にお願いすることはありません。PTAの本来の目的を再確認し、「ポイントをためるためのPTA活動」ではなく、「子どもたちのためのPTA活動」という認識に変わっていかたいと思います。



どんな参加の方法があるの？

2023年度より正式にエントリー制導入となりました。会員の皆さんが活動しやすくなるように組織のあり方も見直し、規約を改正しました。

■運営スタッフ（代表※共同代表も可・会計・庶務）

運営スタッフは、学校や地域とのかかわりあいを持ち、学校・保護者・地域で子どもたちを見守っていけるよう、調整役を担います。会員のみなさまが活動しやすいように学校・地域とのパイプ役となって、活動を支えるコーディネーター的なポジションです。活動の主体となるサポーター・学年代表の募集は、運営スタッフで行います。

■学年代表

保護者の代表として学校と意見交換を行います。年度初めに希望者を募ります。

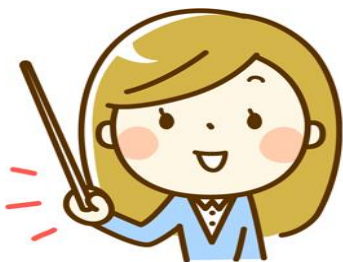
■チームエントリー

運営お手伝い、広報あすなろ、地区委員、びよたま、秋のこどもまつり、校外活動、ふれあいデー、図書ボランティアなどの各サポーターとして、チームで活動します。年間・一定期間での活動があり、年度初めに希望者を募ります。

■ピンポイントエントリー

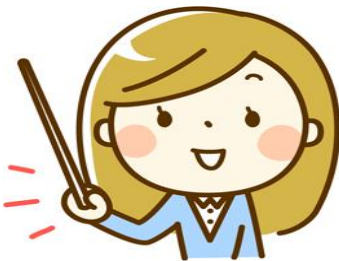
当日のみの活動。都度、メールにて募集します

「やってもいいと思った人が」「やってもいいと思ったときに」「やってもいいと思ったことを」無理なく活動するということが大前提です。反対に、「参加しない」という選択をしても、誰に責められることもありませんし、そのことで児童が不利益な扱いをされることもありません。「やってもいいな」「これなら、できそう」と思う活動がありましたら、無理のない範囲でご協力いただけると嬉しいです。



PTA活動に参加することを決める時期はいつ？

運営スタッフは、年度始めの活動がスムーズに行えるよう、前年度の冬より募集を開始します。その後、集まった運営スタッフ内でその年に募集するサポーターを再度検討し、活動参加アンケートにより学年代表、サポーターなどを募ります。



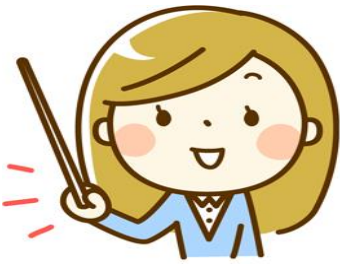
誰もやる人がいなかったら？

運営スタッフの候補者が一人も出なかった場合には再募集をしますが、最終的に一人も集まらなかったらその年のPTAは休会となります。また、サポーターが集まらない場合にも、その活動は行いません。少しの人しか集まらなかったら、その人数で出来る活動内容に調整していきましょう。



転入生はどうしたらいいの？

転入生についても、活動参加は任意ですのでご安心ください。
年度途中からPTA活動に参加されたい場合は、運営スタッフまでご連絡ください。



PTA活動の魅力は？

普段話さないお母さんたちと知り合いになれるチャンス。こどものことや学校の事を相談、共感出来る人が増える。他の学年のお母さんと知り合えて色々な情報が入ってくる。知り合いが少ない保護者の方は特にオススメ！

学校に顔を出す機会が増えて、子どもの学校生活の様子がわかりやすくなる。

普段の学校の様子がわかる。校長先生、副校長先生の話聞くことで教育方針を知ることができた。学校への信頼感も増した。

こどもが、照れながらも学校に親が来ることを喜んでくれる。

エントリー制なので強制感がなく、「こんなことやってみたい！」という前向きなメンバーと一緒に活動できて楽しい。

校長先生や先生方との距離が近くなり、学校が身近に感じられるようになった。

子どものために学校をよくしようと、真剣に考え実行している保護者の方々と関わることができた。

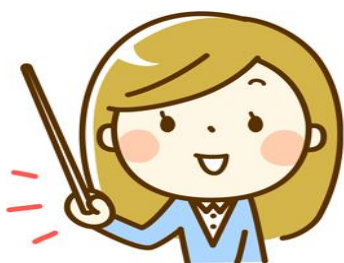
～運営スタッフに関心がある方は、参考にお読みください～



運営スタッフは何をするの？

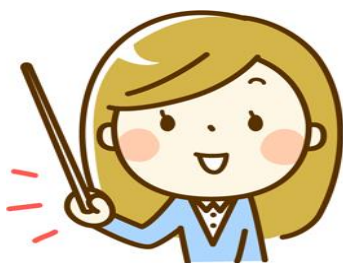
2024年度募集する運営スタッフは
代表 ※共同代表も可 : 1～3名
庶務 : 4～6名
会計 : 1～2名
となります。

縁の下の力持ちとして、学校や地域との連絡、P T A会費の集金、会計の管理、会議の運営、サポーターの募集・調整などを行います。
エントリー制は2021年度よりお試しで行ってきたため、今までの流れを参考にすることもできますし、引き続き負担を軽減して活動しやすいやり方に変えていくこともできます。
詳しくは別紙（配布された「**運営スタッフ募集**」の用紙）をご覧ください。



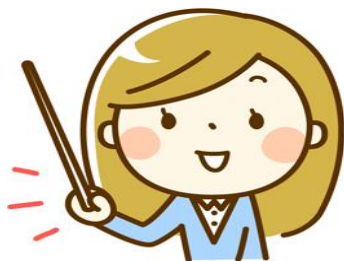
運営スタッフの仕事量はどのくらい？

コロナ禍で来賓挨拶や対面での総会が中止となったため、元々本部役員が任されていた業務は格段に少なくなりました。さらにエントリー制導入に伴う規約改正のタイミングで、活動の主体はサポーター、その活動の調整役となるのが運営スタッフ、と役割分担を行い、負担を軽減・分散化しています。
詳しくは別紙（配布された「**運営スタッフ募集**」の用紙）をご覧ください。



運営スタッフと一緒に引き受けられない活動はあるの？

ありません。今までは代表委員会の出席者対象となる本部役員と学級代表の兼務はできませんでしたが、今後は運営スタッフと学年代表の兼務も可能です。



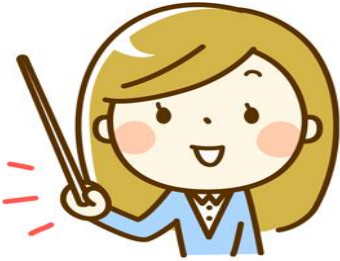
お友だちと一緒に運営スタッフを引き受けてもよい？

もちろん可能です。今年度のメンバーも以前から継続の方、誘い合って参加した方、1人で参加された方とそれぞれです。そして代表についても共同代表が可能ですので、是非ご検討ください。



未就学の子を持つ母親でも、 参加できるのかな？

過去には育休中に本部役員を引き受けている方や、お子さんを連れて一緒に活動されている保護者の方もいました。なお、オンライン会議も導入しているので、運営会議等は自宅からでも出席が可能です。オンライン参加なら、途中で子どものご機嫌が悪くなったりしても対応しやすいかと思います。もちろんお子さんの具合が悪いとき等は、オンラインでも無理せず欠席していただいて構いませんのでご安心ください。欠席の場合にも情報共有をしています。

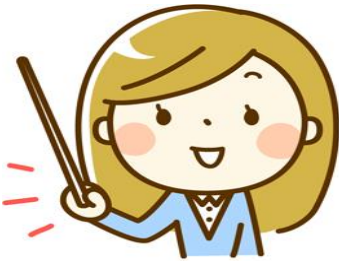


そもそも母親だけの組織なの？

そんなことはありません。お父さんの参加も大歓迎です！！

今年度の会長さんはフルタイム勤務のお父さんです。また、各サポーターさんとして参加しているお父さんもいらっしゃいます。今年度から「パパさんお助け隊」というサポーターも新設されました。

過去には、育休中のお父さんが本部役員を引き受けていたこともありました。平日の会議への参加はなかなか難しいかもしれませんが、オンライン会議が導入され、以前より参加しやすくなりましたので、ぜひご検討ください！



フルタイム勤務でもできる？ どう時間をやりくりしたらいいの？

今までの本部役員の方から、時間のやりくりに関して、工夫をお伺いしました。

「家族の協力と職場の理解が得られています。資料の作成は通勤電車の車内で文面や構成を考え、帰宅して子どもが寝たらパソコンに向かっていきます。会議の後に活動をするようにしています。」

「自宅では、ほとんど何もしていません。週末も習い事や試合で何もできません。ほとんどの作業は、役員会や代表委員会に参加した日にまとめて済ませたり、仕事の休み時間などを活用しています。」

「会議はzoomで参加したり、仕事で欠席する事もありますが、議事録をとってくださっているので時間のある時に確認しています。フルタイムで働いていても出来ます！」

「仕事の繁忙期には活動が難しいので、それ以外の時期に活動するようにしました。他メンバーや運営サポーターさんと業務を分担しながら進めていけたのも、ありがたかったです。」

「家事や仕事に日々忙しいメンバーも多く、サポーターさんの協力が欠かせませんでした。メンバー間で相談し、協力しながら進めていくことが大切だと思いました。」

現在の運営スタッフは、皆さん前向きに業務改善をおこなっています。子どもをもつ親御さんの中には、職場の理解に恵まれている人ばかりではないのが現実で、有休もお子さんやご家族、学校行事に使いたいと望んでいるのではないかと思います。そんな保護者の方々が運営スタッフになり、自ら改革をし、運営スタッフの仕事の効率化を進めることで更なる業務改善の推進になるのではないかと思います。